

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月24日 (2011.3.24)

【公開番号】特開2007-246526(P2007-246526A)

【公開日】平成19年9月27日 (2007.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-037

【出願番号】特願2007-62879(P2007-62879)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 1/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/898 (2006.01)

A 6 1 K 8/88 (2006.01)

A 6 1 K 8/86 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

C 0 8 L 71/00 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

C 0 8 L 53/00 (2006.01)

C 0 8 L 83/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 1/10

A 6 1 K 8/898

A 6 1 K 8/88

A 6 1 K 8/86

A 6 1 K 8/06

C 0 8 L 71/00 Y

C 0 8 L 77/00

C 0 8 L 53/00

C 0 8 L 83/08

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年1月21日 (2011.1.21)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

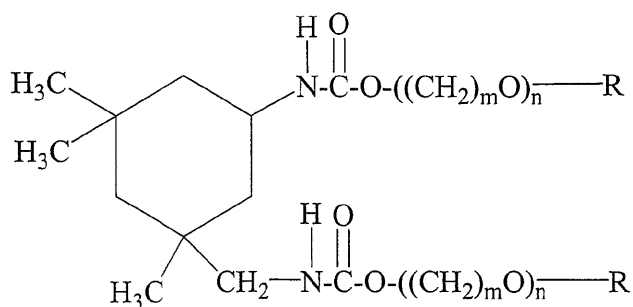
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 少なくとも一の式 (I) :

【化 1】



〔式中、

n は、50～150の整数であり、その間の全ての範囲と部分的範囲を含み；

m は、1～5の整数であり；及び

R は、 $C_{12} - C_{24}$ アルキル又はアルケニル脂肪部分である]

の化合物；及び

(b) ナイロン - 611 / ジメチコンコポリマー、非シリコン - ポリアミドコポリマー、炭化水素樹脂及びそれらの混合物からなる群から選択される少なくとも一の高分子化合物を含有するマスカラ。

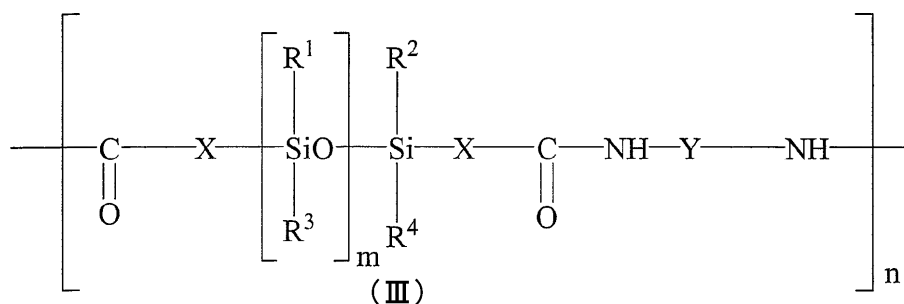
【請求項 2】

マスカラが、少なくとも一のナイロン - 611 / ジメチコンコポリマーと、非シリコン - ポリアミドコポリマーを含有する請求項 1 に記載のマスカラ。

【請求項 3】

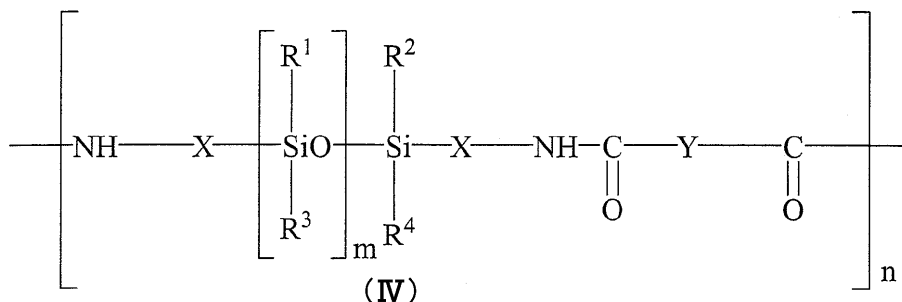
少なくとも一のポリオルガノシロキサン含有ポリマーが、式 (III) 及び (IV)：

【化 2】



及び

【化 3】



〔式中、

1) R^1 、 R^2 、 R^3 及び R^4 は、同一でも異なってもよく、

- 酸素、硫黄及び窒素から選択される少なくとも一の原子を有していてもよい、直鎖状、分岐状及び環状で、飽和及び不飽和の、 $C_1 - C_{40}$ 炭化水素ベース基；

- C₆ - C₁₀ アリール基；

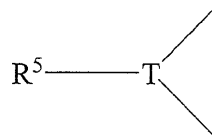
- ポリオルガノシロキサン鎖から選択され；

2) Xは、同一でも異なってもよい、直鎖状及び分岐状の C₁ - C₃₀ アルキレンジイル基であり；

3) Yは、飽和及び不飽和で、C₁ - C₅₀ 直鎖状及び分岐状の二価アルキレン、アリーレン、シクロアルキレン、アルキルアリーレン及びアリールアルキレン基であり；又は

4) Yは、式：

【化4】



[式中、

- Tは、直鎖状及び分岐状で、飽和及び不飽和の、C₃ - C₂₄ 三価炭化水素ベース基から選択されるものであり、及び

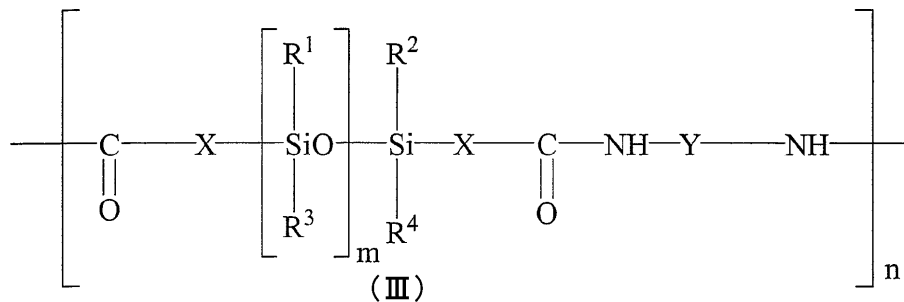
- R⁵は、直鎖状及び分岐状 C₁ - C₅₀ アルキル基及びポリオルガノシロキサン鎖から選択されるものであり、；

5) nは、2 ~ 500の範囲の整数であり、mは1 ~ 1000の範囲の整数である] から選択される少なくとも一の部分を有する、請求項10に記載のマスカラ。

【請求項4】

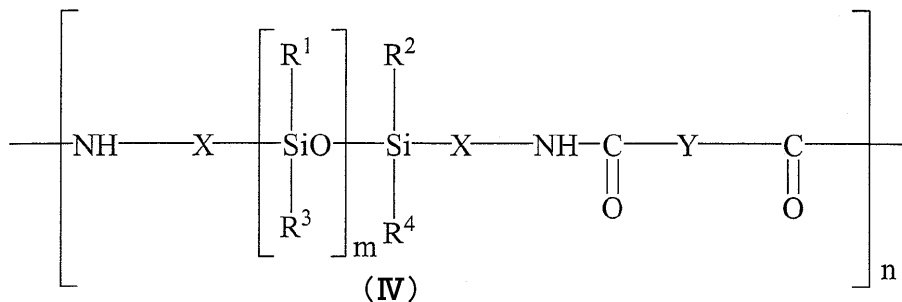
少なくとも一のポリオルガノシロキサン含有ポリマーが、式(III)及び(IV)：

【化5】



及び

【化6】



[式中、

1) R¹、R²、R³及びR⁴は、同一でも異なってもよく、

- 酸素、硫黄及び窒素から選択される少なくとも一の原子を有していてもよく、また、一部又は全部が少なくとも一のフッ素原子で置換されていてもよい、直鎖状、分岐状及び環状で、飽和及び不飽和の、C₁ - C₄₀ 炭化水素ベース基；

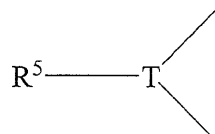
- 少なくとも一の $C_1 - C_4$ アルキル基で置換されてもよい、 $C_6 - C_{10}$ アリール基；
 - 酸素、硫黄及び窒素から選択される少なくとも一の原子を含有していてもよい、ポリオルガノシロキサン鎖から選択され；

2) X は、同一でも異なってもよく、酸素及び窒素から選択される少なくとも一の原子を鎖中に有していてもよい、直鎖状及び分岐状の $C_1 - C_{30}$ アルキレンジイル基であり；

3) Y は、飽和及び不飽和で、 $C_1 - C_{50}$ 直鎖状及び分岐状の二価アルキレン、アリーレン、シクロアルキレン、アルキルアリーレン及びアリールアルキレン基であり、酸素、硫黄及び窒素から選択される少なくとも一の原子を有していてもよく、以下の原子及び原子基：フッ素、ヒドロキシル、 $C_3 - C_8$ シクロアルキル、 $C_1 - C_{40}$ アルキル、 $C_5 - C_{10}$ アリール、1～3の $C_1 - C_3$ アルキル基、 $C_1 - C_3$ ヒドロキシアルキル基及び $C_1 - C_6$ アミノアルキル基で置換可能なフェニルで置換されていてもよいもの；又は

4) Y は、式：

【化 7】



[式中、

- T は、ポリオルガノシロキサン鎖で置換されていてもよく、及び O、N 及び S、又は N、P 及び Al から選択される三価原子を表す T から選択される少なくとも一の原子を含有していてもよい、直鎖状及び分岐状で、飽和及び不飽和の、 $C_3 - C_{24}$ 三価炭化水素ベース基から選択されるものであり、及び

- R^5 は、直鎖状及び分岐状 $C_1 - C_{50}$ アルキル基及びポリオルガノシロキサン鎖から選択されるものであり、ポリマーの他の鎖と結合していてもよいエステル、アミド、ウレタン、チオカルバメート、ウレア、チオウレア及びスルホンアミド基から選択される少なくとも一の基を有していてもよいもの；

5) n は、2～500 の範囲の整数であり、m は 1～1000 の範囲の整数である]
 から選択される少なくとも一の部分を有する、請求項 3 に記載のマスカラ。

【請求項 5】

少なくとも一の非シリコーンポリアミドポリマーが、エステル、アミド、ポリアルキレンオキシ基又はそれらの混合物で末端処理されたものである、請求項 3 又は 4 に記載のマスカラ。

【請求項 6】

少なくとも一の非シリコーンポリアミドポリマーが、エステルで末端処理されたものである、請求項 5 に記載のマスカラ。

【請求項 7】

少なくとも一の非シリコーンポリアミドポリマーが、エステル、アミド、ポリアルキレンオキシ基、又はそれらの混合物で末端処理されたものである、請求項 2 に記載のマスカラ。

【請求項 8】

少なくとも一の非シリコーンポリアミドポリマーが、エステルで末端処理されたものである、請求項 7 に記載のマスカラ。

【請求項 9】

少なくとも一の前記式 (I) の化合物が、50～120 のアルコキシ化単位と $C_{16} - C_{18}$ 脂肪部分を有する、請求項 1 に記載のマスカラ。

【請求項 10】

少なくとも一の前記式 (I) の化合物が、75 - 100 のエトキシ化単位と C_{16} - C_{18} 脂肪部分を有する、請求項 1 に記載のマスカラ。

【請求項 11】

少なくとも一の前記式 (I) の化合物が、75 - 100 のエトキシ化単位と C_{16} - C_{18} 脂肪部分を有する、請求項 3 又は 4 に記載のマスカラ。

【請求項 12】

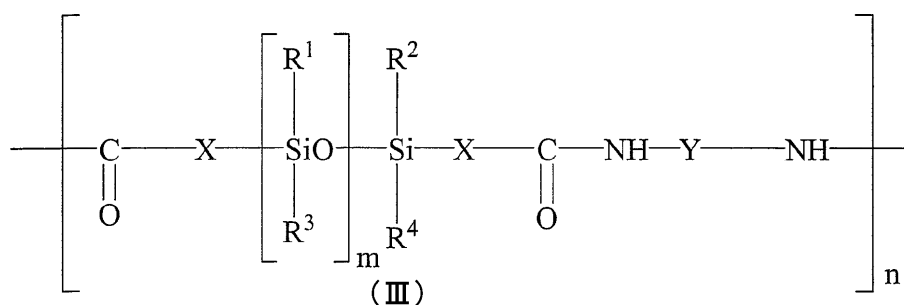
少なくとも一の前記式 (I) の化合物が、75 - 100 のエトキシ化単位と C_{16} - C_{18} 脂肪部分を有する、請求項 6 に記載のマスカラ。

【請求項 13】

少なくとも一の前記式 (I) の化合物が、75 - 100 のエトキシ化単位と C_{16} - C_{18} 脂肪部分を有する、請求項 8 に記載のマスカラ。

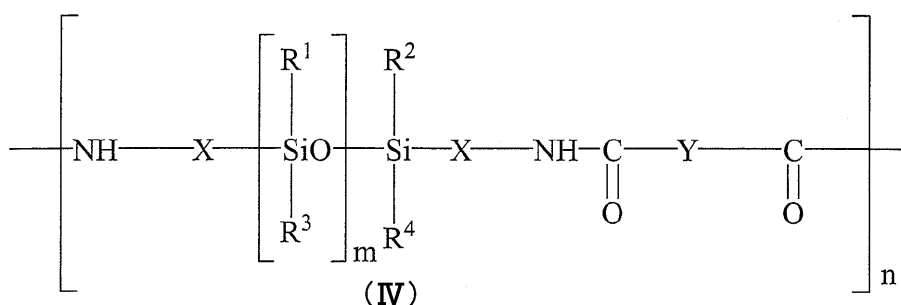
【請求項 14】

少なくとも一ポリオルガノシロキサン含有ポリマーが、式 (III) 及び (IV) :
【化 8】



及び

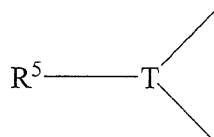
【化 9】



[式中、

- 1) R^1 、 R^2 、 R^3 及び R^4 は、同一でも異なってもよく、
 - 酸素、硫黄及び窒素から選択される少なくとも一の原子を有してもよい、直鎖状、分岐状及び環状で、飽和及び不飽和の、 C_1 - C_{40} 炭化水素ベース基；
 - C_6 - C_{10} アリール基；
 - ポリオルガノシロキサン鎖から選択され；
- 2) X は、同一でも異なってもよい、直鎖状及び分岐状の C_1 - C_{30} アルキレンジイル基であり；
- 3) Y は、飽和及び不飽和で、 C_1 - C_{50} 直鎖状及び分岐状の二価アルキレン、アリーレン、シクロアルキレン、アルキルアリーレン及びアリーラルキレン基であり；又は
- 4) Y は、式：

【化 1 0】



[式中、

- T は、直鎖状及び分岐状で、飽和及び不飽和の、 $\text{C}_3 - \text{C}_{24}$ 三価炭化水素ベース基から選択されるものであり、及び

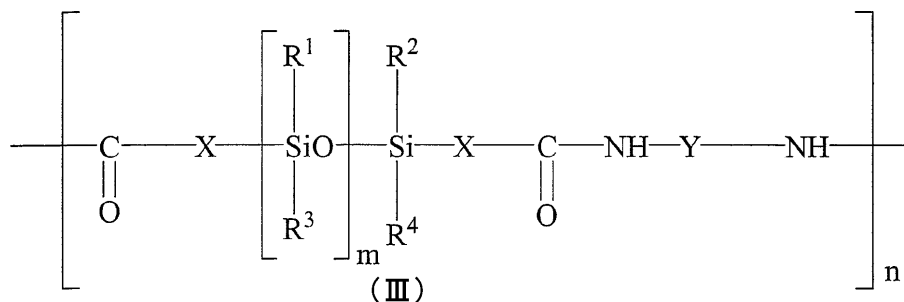
- R^5 は、直鎖状及び分岐状 $\text{C}_1 - \text{C}_{50}$ アルキル基及びポリオルガノシロキサン鎖から選択されるものであり、;

5) n は、2 ~ 500 の範囲の整数であり、 m は 1 ~ 1000 の範囲の整数である]

【請求項 15】

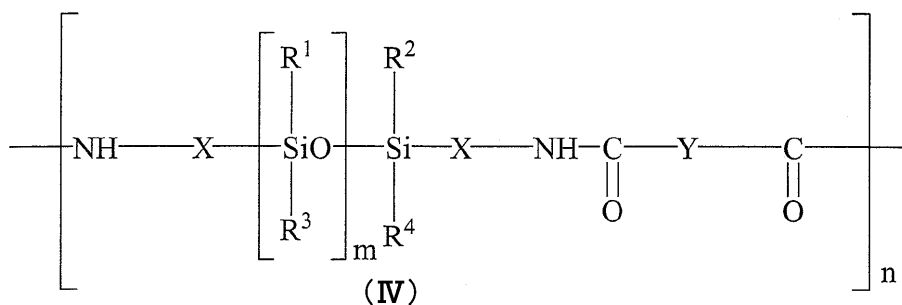
少なくともポリオルガノシロキサン含有ポリマーが、式 (III) 及び (IV) :

【化 1 1】



及び

【化 1 2】



[式中、

1) R^1 、 R^2 、 R^3 及び R^4 は、同一でも異なってもよく、

- 酸素、硫黄及び窒素から選択される少なくとも一の原子を有していてもよく、また、一部又は全部が少なくとも一のフッ素原子で置換されていてもよい、直鎖状、分岐状及び環状で、飽和及び不飽和の、 $\text{C}_1 - \text{C}_{40}$ 炭化水素ベース基;

- 少なくとも一の $\text{C}_1 - \text{C}_4$ アルキル基で置換されてもよい、 $\text{C}_6 - \text{C}_{10}$ アリール基;

- 酸素、硫黄及び窒素から選択される少なくとも一の原子を含有していてもよい、ポリオルガノシロキサン鎖から選択され;

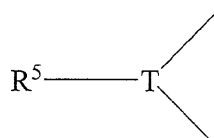
2) X は、同一でも異なってもよく、酸素及び窒素から選択される少なくとも一の原子を鎖中に有していてもよい、直鎖状及び分岐状の $\text{C}_1 - \text{C}_{30}$ アルキレンジイル基であり;

3) Y は、飽和及び不飽和で、 $\text{C}_1 - \text{C}_{50}$ 直鎖状及び分岐状の二価アルキレン、アリ

ーレン、シクロアルキレン、アルキルアリーレン及びアリールアルキレン基であり、酸素、硫黄及び窒素から選択される少なくとも一の原子を有していてもよく、以下の原子及び原子基：フッ素、ヒドロキシル、 $C_3 - C_8$ シクロアルキル、 $C_1 - C_{40}$ アルキル、 $C_5 - C_{10}$ アリール、1～3の $C_1 - C_3$ アルキル基、 $C_1 - C_3$ ヒドロキシアルキル基及び $C_1 - C_6$ アミノアルキル基で置換可能なフェニルで置換されていてもよいもの；又は

4) Yは、式：

【化13】



【式中、

- Tは、ポリオルガノシロキサン鎖で置換されていてもよく、及びO、N及びS、又はN、P及びAlから選択される三価原子を表すTから選択される少なくとも一の原子を含有していてもよい、直鎖状及び分岐状で、飽和及び不飽和の、 $C_3 - C_{24}$ 三価炭化水素ベース基から選択されるものであり、及び

- R⁵は、直鎖状及び分岐状 $C_1 - C_{50}$ アルキル基及びポリオルガノシロキサン鎖から選択されるものであり、ポリマーの他の鎖と結合していてもよいエステル、アミド、ウレタン、チオカルバメート、ウレア、チオウレア及びスルホンアミド基から選択される少なくとも一の基を有していてもよいもの；

5) nは、2～500の範囲の整数であり、mは1～1000の範囲の整数である]
から選択される少なくとも一の部分を有する、請求項1に記載のマスカラ。

【請求項16】

少なくとも一の非シリコーンポリアミドポリマーが、エステル、アミド、ポリアルキレンオキシ基又はそれらの混合物で末端処理されたものである、請求項1に記載のマスカラ。

【請求項17】

マスカラがエマルションの形態である、請求項1に記載のマスカラ。

【請求項18】

マスカラがエマルションの形態である、請求項3又は4に記載のマスカラ。

【請求項19】

マスカラがエマルションの形態である、請求項6に記載のマスカラ。

【請求項20】

マスカラがエマルションの形態である、請求項8に記載のマスカラ。

【請求項21】

請求項1に記載のマスカラを睫毛に適用することを含む睫毛のメイクアップ方法。

【請求項22】

請求項1に記載のマスカラを睫毛に適用することを含む睫毛のボリュームと長さを増大させる方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0025

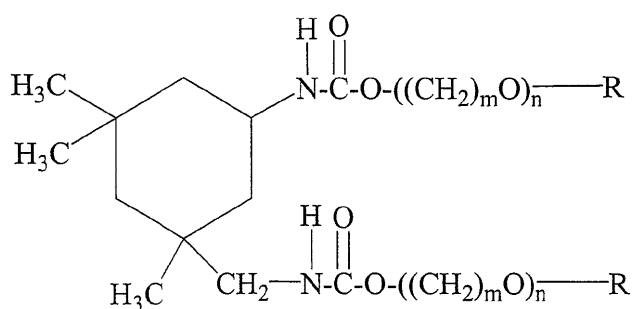
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0025】

さらに具体的には、適した脂肪アルコキシル化二量体化合物は、式(I)：

【化 1】



[式中、

nは、約50～約150、好ましくは約70～約120、さらに好ましくは約75～100の整数であり、その間の全ての範囲と部分的範囲を含み；

mは、1～5、好ましくは2及び/又は3（エトキシ化及び/又はプロポキシ化）、さらに好ましくは2（エトキシ化）の整数であり；及び

Rは、C₁₂ - C₂₄アルキル又はアルケニル脂肪部分、好ましくはC₁₄ - C₂₂脂肪部分、さらに好ましくはC₁₆ - C₁₈脂肪部分である]の化合物を含む。

好ましい脂肪アルコキシ化二量体化合物は、約75～約100のエトキシ化単位及びC₁₆ - C₁₈脂肪部分を有する化合物である。それらの化合物の特に好ましい例は、ダーモティックス(Dermothix) 75又はダーモティックス100の商品名で販売される、それぞれ、75又は100モル（又は単位）のエトキシ化を有する化合物である。